



FRANKLIN  
TEMPLETON

## LM・ニュージーランド債券ファンド (毎月分配型)

### 運用報告書 (全体版)

第91期	決算日	2021年9月15日
第92期	決算日	2021年10月15日
第93期	決算日	2021年11月15日
第94期	決算日	2021年12月15日
第95期	決算日	2022年1月17日
第96期	決算日	2022年2月15日

#### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「LM・ニュージーランド債券ファンド (毎月分配型)」は、2022年2月15日に第96期の決算を行いましたので、第91期、第92期、第93期、第94期、第95期、第96期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社 (金融商品取引業者  
関東財務局長 (金商) 第417号) はフランクリン・リソース・インク  
傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年2月28日～2024年2月15日まで	
運用方針	主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ニュージーランド債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ニュージーランド債券マザーファンド	主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日 (原則として毎月15日。休業日の場合は翌営業日) に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：  
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
67期(2019年9月17日)	8,000	30	△0.4	98.0	—	4,200	
68期(2019年10月15日)	7,998	15	0.2	97.4	—	4,145	
69期(2019年11月15日)	8,019	15	0.5	98.7	—	4,075	
70期(2019年12月16日)	8,248	15	3.0	97.4	—	4,092	
71期(2020年1月15日)	8,322	15	1.1	94.6	—	4,039	
72期(2020年2月17日)	8,121	15	△2.2	95.7	—	3,880	
73期(2020年3月16日)	7,441	15	△8.2	96.5	—	3,537	
74期(2020年4月15日)	7,593	15	2.2	97.2	—	3,568	
75期(2020年5月15日)	7,703	15	1.6	98.3	—	3,612	
76期(2020年6月15日)	8,135	15	5.8	98.3	—	3,728	
77期(2020年7月15日)	8,260	15	1.7	98.1	—	3,690	
78期(2020年8月17日)	8,288	15	0.5	98.2	—	3,578	
79期(2020年9月15日)	8,435	15	2.0	97.2	—	3,443	
80期(2020年10月15日)	8,349	15	△0.8	94.0	—	3,344	
81期(2020年11月16日)	8,453	15	1.4	97.3	—	3,332	
82期(2020年12月15日)	8,624	15	2.2	96.8	—	3,310	
83期(2021年1月15日)	8,659	15	0.6	97.5	—	3,214	
84期(2021年2月15日)	8,666	15	0.3	97.5	—	3,103	
85期(2021年3月15日)	8,771	15	1.4	98.0	—	3,089	
86期(2021年4月15日)	8,730	15	△0.3	98.0	—	3,008	
87期(2021年5月17日)	8,779	15	0.7	98.9	—	2,911	
88期(2021年6月15日)	8,800	15	0.4	97.8	—	2,865	
89期(2021年7月15日)	8,582	15	△2.3	98.6	—	2,706	
90期(2021年8月16日)	8,483	15	△1.0	98.3	—	2,629	
91期(2021年9月15日)	8,496	15	0.3	97.8	—	2,669	
92期(2021年10月15日)	8,667	15	2.2	98.0	—	2,729	
93期(2021年11月15日)	8,427	15	△2.6	98.7	—	2,565	
94期(2021年12月15日)	8,130	15	△3.3	98.0	—	2,463	
95期(2022年1月17日)	8,202	15	1.1	96.3	—	2,474	
96期(2022年2月15日)	7,919	15	△3.3	97.5	—	2,350	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第91期	(期 首) 2021年8月16日	8,483	—	—	98.3	—	—
	8月末	8,492	0.1	—	98.2	—	—
	(期 末) 2021年9月15日	8,511	0.3	—	97.8	—	—
第92期	(期 首) 2021年9月15日	8,496	—	—	97.8	—	—
	9月末	8,386	△1.3	—	97.7	—	—
	(期 末) 2021年10月15日	8,682	2.2	—	98.0	—	—
第93期	(期 首) 2021年10月15日	8,667	—	—	98.0	—	—
	10月末	8,571	△1.1	—	98.9	—	—
	(期 末) 2021年11月15日	8,442	△2.6	—	98.7	—	—
第94期	(期 首) 2021年11月15日	8,427	—	—	98.7	—	—
	11月末	8,195	△2.8	—	97.1	—	—
	(期 末) 2021年12月15日	8,145	△3.3	—	98.0	—	—
第95期	(期 首) 2021年12月15日	8,130	—	—	98.0	—	—
	12月末	8,356	2.8	—	96.2	—	—
	(期 末) 2022年1月17日	8,217	1.1	—	96.3	—	—
第96期	(期 首) 2022年1月17日	8,202	—	—	96.3	—	—
	1月末	7,925	△3.4	—	96.3	—	—
	(期 末) 2022年2月15日	7,934	△3.3	—	97.5	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

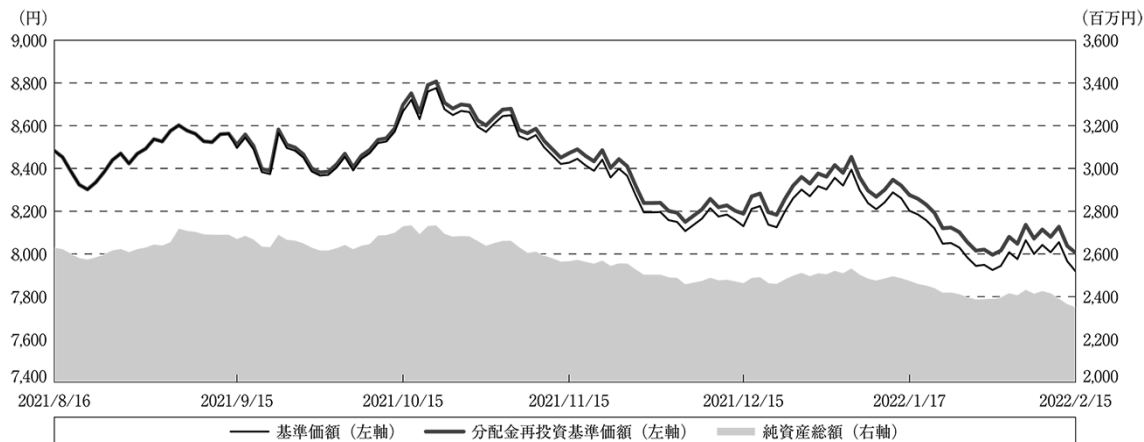
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2021年8月17日～2022年2月15日)



第91期首：8,483円

第96期末：7,919円 (既払分配金(税込み):90円)

騰落率：△ 5.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2021年8月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス(分配金再投資ベース)となりました。公社債利金を手堅く確保しました。一方、債券利回りの上昇を受けて、公社債損益はマイナスとなりました。また、為替相場におけるニュージーランドドル(NZドル)安・円高を反映し、為替損益も若干のマイナスとなりました。

当作成期のニュージーランド債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）による利上げ観測が根強い中、利回りは上昇しました。RBNZが利上げを決定すると、利回りの上昇に拍車がかかりました。その後もRBNZによる追加利上げ観測等を背景に利回りの上昇は続きました。

期の半ばは、RBNZが追加利上げを決定したものの、利上げ幅が一部の市場予想を下回ったことから、利回りは低下しました。さらに、新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）が確認されたことを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、利回りの低下が進みました。

期の後半は、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策の正常化を前倒しで進めるとの見方が強まり、米国国債利回りが上昇した影響で、ニュージーランドの債券利回りも上昇しました。

社債セクターについては、国債利回りが上昇する中、社債利回りも上昇しました。RBNZによる利上げなどが影響しました。

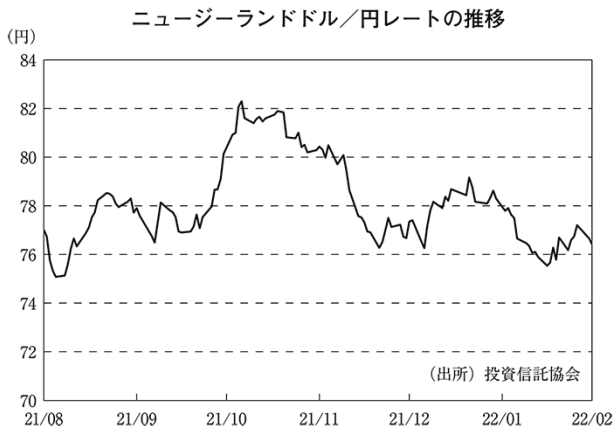


当作成期のNZドル・円相場は、若干のNZドル安・円高となりました。

期の前半は、RBNZによる利上げ観測が根強い中、NZドルは対円で上昇しました。RBNZが利上げを決定すると、NZドル買い・円売りに拍車がかかりました。その後もRBNZによる追加利上げ観測等を背景にNZドル買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、RBNZが追加利上げを決定したものの、利上げ幅が一部の市場予想を下回ったことから、NZドル売り・円買いが優勢となりました。その後も新型コロナウイルスのオミクロン株が見つかったことを受けてリスク回避姿勢が強まったことから、NZドル売り・円買いが強まりました。

期の後半は、新型コロナウイルスのオミクロン株への過度の警戒感が和らぐと、NZドル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後はFRBが金融政策の正常化を前倒しで進めるとの観測から、NZドルは対米ドルで軟調となり、円に対しても下落しました。



当ファンドは、「LM・ニュージーランド債券マザーファンド」を通じて、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。取得時において、原則として1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3以上）の格付けが付与された、またはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債に投資しております。当作成期の運用に当たっては慎重な方針で臨みました。資産配分については、金融債などの社債を厚めとしました。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

分配金

(2021年8月17日～2022年2月15日)

当作成期の分配金につきましては、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2021年8月17日～ 2021年9月15日	2021年9月16日～ 2021年10月15日	2021年10月16日～ 2021年11月15日	2021年11月16日～ 2021年12月15日	2021年12月16日～ 2022年1月17日	2022年1月18日～ 2022年2月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.176%	15 0.173%	15 0.178%	15 0.184%	15 0.183%	15 0.189%
当期の収益	14	15	11	10	15	9
当期の収益以外	0	—	3	4	—	5
翌期繰越分配対象額	453	458	454	450	454	449

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年8月17日～2022年2月15日)

項 目	第91期～第96期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 60	% 0.717	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(29)	(0.347)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(29)	(0.347)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.053	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.028)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 等 費 用 )	( 2 )	(0.019)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	64	0.770	
作成期間の平均基準価額は、8,320円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

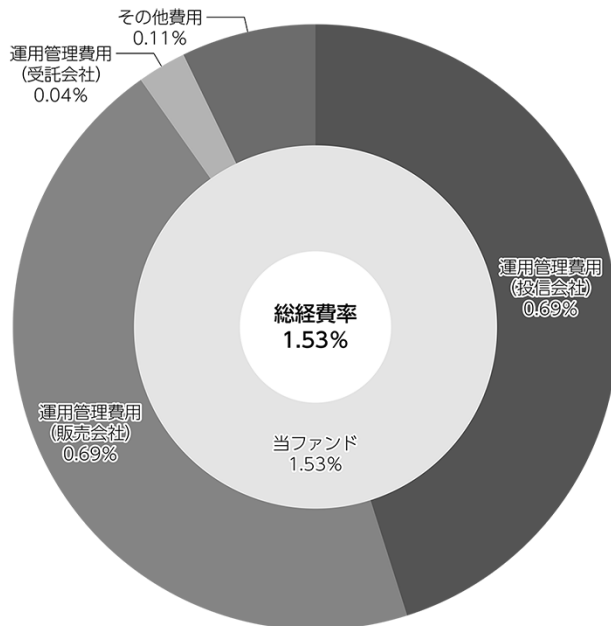
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.53%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2021年8月17日～2022年2月15日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第91期～第96期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ニュージーランド債券マザーファンド		109,020	137,814	233,310	294,139

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年8月17日～2022年2月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2021年8月17日～2022年2月15日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年8月17日～2022年2月15日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2022年2月15日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第90期末	第96期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ニュージーランド債券マザーファンド		2,086,707	1,962,417	2,358,040

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2022年2月15日現在)

項 目	第96期末	
	評 価 額	比 率
LM・ニュージーランド債券マザーファンド	千円 2,358,040	% 100.0
コール・ローン等、その他	0	0.0
投資信託財産総額	2,358,040	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ニュージーランド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(3,297,396千円)の投資信託財産総額(3,347,042千円)に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月15日における邦貨換算レートは、1ニュージーランドドル=76.43円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末
	2021年9月15日現在	2021年10月15日現在	2021年11月15日現在	2021年12月15日現在	2022年1月17日現在	2022年2月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,677,940,741	2,740,938,324	2,577,485,021	2,470,980,178	2,483,752,750	2,358,040,840
LM・ニュージーランド債券マザーファンド(評価額)	2,677,584,344	2,737,217,055	2,573,610,451	2,470,745,817	2,481,915,302	2,358,040,825
未収入金	356,397	3,721,269	3,874,570	234,361	1,837,448	15
(B) 負債	8,280,057	11,671,604	11,781,824	7,840,410	9,702,152	7,290,563
未払収益分配金	4,713,172	4,723,464	4,566,857	4,544,530	4,524,546	4,453,008
未払解約金	356,397	3,721,269	3,874,570	234,361	1,837,448	15
未払信託報酬	3,101,764	3,118,093	3,227,830	2,956,985	3,227,237	2,740,686
その他未払費用	108,724	108,778	112,567	104,534	112,921	96,854
(C) 純資産総額(A-B)	2,669,660,684	2,729,266,720	2,565,703,197	2,463,139,768	2,474,050,598	2,350,750,277
元本	3,142,114,752	3,148,976,202	3,044,571,943	3,029,686,858	3,016,364,063	2,968,672,554
次期繰越損益金	△ 472,454,068	△ 419,709,482	△ 478,868,746	△ 566,547,090	△ 542,313,465	△ 617,922,277
(D) 受益権総口数	3,142,114,752口	3,148,976,202口	3,044,571,943口	3,029,686,858口	3,016,364,063口	2,968,672,554口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,496円	8,667円	8,427円	8,130円	8,202円	7,919円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 3,099,552,292円

当作成期中追加設定元本額 163,241,491円

当作成期中一部解約元本額 294,121,229円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は617,922,277円であります。

## ○損益の状況

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2021年8月17日～ 2021年9月15日	2021年9月16日～ 2021年10月15日	2021年10月16日～ 2021年11月15日	2021年11月16日～ 2021年12月15日	2021年12月16日～ 2022年1月17日	2022年1月18日～ 2022年2月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	11,544,205	61,811,173	△ 65,159,084	△ 82,333,662	29,471,655	△ 76,522,172
売買益	13,660,202	64,463,347	756,913	708,229	30,269,718	943,200
売買損	△ 2,115,997	△ 2,652,174	△ 65,915,997	△ 83,041,891	△ 798,063	△ 77,465,372
(B) 信託報酬等	△ 3,210,488	△ 3,226,871	△ 3,340,397	△ 3,061,519	△ 3,340,158	△ 2,837,540
(C) 当期損益金(A+B)	8,333,717	58,584,302	△ 68,499,481	△ 85,395,181	26,131,497	△ 79,359,712
(D) 前期繰越損益金	△284,314,122	△277,915,984	△216,435,027	△286,475,805	△373,279,197	△344,078,366
(E) 追加信託差損益金	△191,760,491	△195,654,336	△189,367,381	△190,131,574	△190,641,219	△190,031,191
(配当等相当額)	( 125,153,814)	( 125,714,607)	( 121,600,547)	( 121,102,889)	( 120,647,601)	( 118,848,858)
(売買損益相当額)	(△316,914,305)	(△321,368,943)	(△310,967,928)	(△311,234,463)	(△311,288,820)	(△308,880,049)
(F) 計(C+D+E)	△467,740,896	△414,986,018	△474,301,889	△562,002,560	△537,788,919	△613,469,269
(G) 収益分配金	△ 4,713,172	△ 4,723,464	△ 4,566,857	△ 4,544,530	△ 4,524,546	△ 4,453,008
次期繰越損益金(F+G)	△472,454,068	△419,709,482	△478,868,746	△566,547,090	△542,313,465	△617,922,277
追加信託差損益金	△191,760,491	△195,654,336	△189,367,381	△190,131,574	△190,641,219	△190,031,191
(配当等相当額)	( 125,231,931)	( 125,754,068)	( 121,603,542)	( 121,120,302)	( 120,661,340)	( 118,865,068)
(売買損益相当額)	(△316,992,422)	(△321,408,404)	(△310,970,923)	(△311,251,876)	(△311,302,559)	(△308,896,259)
分配準備積立金	17,319,872	18,573,444	16,884,089	15,221,656	16,462,315	14,439,157
繰越損益金	△298,013,449	△242,628,590	△306,385,454	△391,637,172	△368,134,561	△442,330,243

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	4,696,557	6,148,424	3,509,186	3,058,550	5,892,033	2,785,330
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	125,231,931	125,754,068	121,603,542	121,120,302	120,661,340	118,865,068
(D) 分配準備積立金	17,336,487	17,148,484	17,941,760	16,707,636	15,094,828	16,106,835
分配対象収益額(A+B+C+D)	147,264,975	149,050,976	143,054,488	140,886,488	141,648,201	137,757,233
(1万口当たり収益分配対象額)	( 468)	( 473)	( 469)	( 465)	( 469)	( 464)
収 益 分 配 金	4,713,172	4,723,464	4,566,857	4,544,530	4,524,546	4,453,008
(1万口当たり収益分配金)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)

## ○分配金のお知らせ

	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
1万口当たり分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金(特別分配金)に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

# LM・ニュージーランド債券マザーファンド

## 運用状況のご報告

第8期 決算日 2022年2月15日

(計算期間：2021年2月16日～2022年2月15日)

### － 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ニュージーランド債券マザーファンド」の第8期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。 2. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	ニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行います。
組 入 制 限	1. 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 2. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
4期(2018年2月15日)	円 11,375	% 1.1	% 96.3	% —	百万円 8,683
5期(2019年2月15日)	11,530	1.4	96.4	—	6,748
6期(2020年2月17日)	11,460	△ 0.6	95.4	—	5,317
7期(2021年2月15日)	12,686	10.7	97.2	—	4,213
8期(2022年2月15日)	12,016	△ 5.3	97.2	—	3,347

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
(期 首) 2021年2月15日	円 12,686	% —	% 97.2	% —	% —
2月末	12,643	△0.3	97.9	—	—
3月末	12,721	0.3	97.4	—	—
4月末	13,059	2.9	96.5	—	—
5月末	13,012	2.6	97.0	—	—
6月末	12,722	0.3	97.9	—	—
7月末	12,727	0.3	97.4	—	—
8月末	12,661	△0.2	98.1	—	—
9月末	12,540	△1.2	97.6	—	—
10月末	12,853	1.3	98.8	—	—
11月末	12,328	△2.8	97.1	—	—
12月末	12,608	△0.6	96.1	—	—
2022年1月末	11,995	△5.4	96.2	—	—
(期 末) 2022年2月15日	12,016	△5.3	97.2	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2021年2月16日～2022年2月15日)



### ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。公社債利金を手堅く確保しました。また、為替相場におけるニュージーランドドル（NZドル）高・円安を反映し、為替損益もプラスとなりました。一方、債券利回りの上昇を受けて、公社債損益は大幅なマイナスとなりました。

当期のニュージーランド債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、新型コロナウイルスのワクチン普及による世界景気の回復期待が高まる中、利回りは上昇しました。しかし、その後はニュージーランド準備銀行（RBNZ）の金融政策をめぐる思惑が交錯したことなどから、利回りは一進一退を続けました。

期の半ばは、RBNZによる利上げ観測が根強い中、利回りは上昇しました。RBNZが利上げを決定すると、利回りの上昇に拍車がかかりました。その後もRBNZによる追加利上げ観測等を背景に利回りの上昇は続きました。

期の後半は、RBNZが追加利上げを決定したものの、利上げ幅が一部の市場予想を下回ったことから、利回りは低下（価格は上昇）しました。しかし、その後は米連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策の正常化を前倒しで進めるとの見方が強まり、米国国債利回りが上昇した影響で、ニュージーランドの債券利回りも上昇しました。

社債セクターについては、国債利回りが上昇する中、社債利回りも上昇しました。RBNZによる利上げなどが影響しました。





当期のNZドル・円相場は、若干のNZドル高・円安となりました。

期の前半は、新型コロナウイルスのワクチン普及による世界景気の回復期待が高まる中、NZドル買い・円売りが先行しました。しかし、その後はニュージーランド経済の回復期待、RBNZの金融政策をめぐる思惑、新型コロナウイルスの感染拡大懸念などからNZドルは一進一退を続けました。

期の半ばは、RBNZによる利上げ観測が根強い中、NZドルは対円で上昇しました。RBNZが利上げを決定すると、NZドル買い・円売りに拍車がかかりました。その後もRBNZによる追加利上げ観測等を背景にNZドル買い・円売りが優勢となりました。

期の後半は、RBNZが追加利上げを決定したものの、利上げ幅が一部の市場予想を下回ったことから、NZドル売り・円買いが優勢となりました。新型コロナウイルスのオミクロン株への過度の警戒感が和らぐと、NZドルの買い戻しが強まりました。しかし、その後は米金融政策の正常化観測を背景にNZドルは対米ドルで軟調となり、円に対しても下落しました。



## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。取得時において、原則として1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3以上）の格付けが付与された、またはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債に投資しております。当期の運用に当たっては慎重な方針で臨みました。資産配分については、金融債などの社債を厚めとしました。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2021年2月16日～2022年2月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 7 (7)	% 0.057 (0.057)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	7	0.057	
期中の平均基準価額は、12,655円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年2月16日～2022年2月15日)

### 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル
外 国	ニュージーランド	国債証券	4,365 3,926
		地方債証券	1,375 1,819
		特殊債券	— 1,442 ( 228)
		社債券(投資法人債券を含む)	5,653 8,680 (2,271)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年2月16日～2022年2月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年2月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	%	%	%	%	%
ニュージーランド	43,021	42,577	3,254,192	97.2	—	53.2	28.6	15.5
合 計	43,021	42,577	3,254,192	97.2	—	53.2	28.6	15.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
ニュージーランド	%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円		
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	2,540	2,763	211,207	2027/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	0.25	600	515	39,368	2028/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.0	1,080	1,096	83,791	2029/4/20
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.5	2,350	2,100	160,528	2031/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.5	3,460	3,663	279,973	2033/4/14
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	2.75	2,490	2,401	183,513	2037/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.75	1,500	1,199	91,701	2041/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	2.75	1,210	1,109	84,822	2051/5/15
地方債証券	AUCKLAND COUNCIL	5.806	750	796	60,863	2024/3/25
	AUCKLAND COUNCIL	4.176	250	258	19,780	2025/3/24
	AUCKLAND COUNCIL	2.013	200	193	14,785	2025/7/10
	AUCKLAND COUNCIL	2.95	300	250	19,145	2050/9/28
	CHRISTCHURCH CITY HLDGS	3.4	930	939	71,790	2022/12/6
	KUNTARAOHITU OYJ	0.625	300	292	22,377	2023/6/26
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	2.75	200	199	15,260	2025/4/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5	2,880	3,071	234,720	2027/4/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	1.5	300	266	20,402	2029/4/20
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	2.25	200	182	13,974	2031/5/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	3.5	400	401	30,697	2033/4/14
	特殊債券 (除く金融債)	AVANZ 2020-1 A1	2.47	156	158	12,132
INTL BK RECON & DEVELOP		0.625	500	435	33,305	2027/9/24
NORDIC INVESTMENT BANK		3.875	1,000	1,030	78,775	2025/9/2
RESNZ 2020-1 A1		2.52	132	133	10,214	2052/10/16
普通社債券 (含む投資法人債券)	ANZ BANK NEW ZEALAND LTD	3.7	300	304	23,261	2023/5/30
	ANZ BANK NEW ZEALAND LTD	3.03	800	801	61,287	2024/3/20
	ASB BANK LIMITED	1.83	300	291	22,266	2024/8/19
	ASB BANK LIMITED	1.646	700	651	49,793	2026/5/4
	AUCKLAND INTL AIRPORT	3.64	200	202	15,474	2023/4/17

銘柄		当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	
普通社債券 (含む投資法人債類)	AUCKLAND INTL AIRPORT	3.97	750	763	58,339	2023/11/2
	AUCKLAND INTL AIRPORT	3.51	400	404	30,888	2024/10/10
	BANK OF NEW ZEALAND	3.648	600	608	46,537	2023/11/16
	BANK OF NEW ZEALAND	2.16	500	486	37,163	2025/1/29
	BANK OF NEW ZEALAND	1.884	200	187	14,339	2026/6/8
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	4.005	500	507	38,763	2023/6/19
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	0.954	500	483	36,955	2023/9/25
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	2.393	250	242	18,548	2024/11/22
	CHORUS LTD	1.98	650	592	45,313	2027/12/2
	CONTACT ENERGY LTD	3.55	300	303	23,217	2024/8/15
	FONTERRA COOPERATIVE GRO	5.9	210	210	16,069	2022/2/25
	FONTERRA COOPERATIVE GRO	5.08	500	526	40,244	2025/6/19
	GENESIS ENERGY LTD	5.81	500	516	39,484	2023/3/8
	GMT BOND ISSUER LTD	4.54	400	411	31,452	2024/5/31
	GMT BOND ISSUER LTD	2.559	300	265	20,254	2030/9/4
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	3.36	530	536	41,014	2025/6/12
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	3.42	1,900	1,921	146,869	2028/10/18
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	2.183	820	751	57,420	2030/4/24
	IND & COMM BK CHN NZ FRN	1.965	600	601	45,952	2022/6/27
	KIWI PROPERTY GROUP LTD	4.33	700	723	55,277	2024/12/19
	KIWIBANK LTD	2.155	500	487	37,230	2024/9/20
	MERCURY NZ LTD	2.16	200	189	14,508	2026/9/29
	MERIDIAN ENERGY LIMITED	4.21	400	411	31,444	2025/6/27
	RABOBANK NEDERLAND	2.75	500	498	38,132	2024/3/4
	SPARK FINANCE LTD	4.5	250	250	19,171	2022/3/25
	SPARK FINANCE LTD	3.37	400	403	30,863	2024/3/7
	TOYOTA FIN NEW ZEALAND	3.17	500	502	38,440	2023/9/12
	TOYOTA FIN NEW ZEALAND	2.71	350	346	26,517	2024/4/23
	TOYOTA FIN NEW ZEALAND	1.73	400	385	29,459	2024/9/6
	TRANSPower NEW ZEALAND L	4.069	200	202	15,480	2022/9/16
	TRANSPower NEW ZEALAND L	1.735	750	718	54,885	2025/9/4
	VECTOR LTD	3.45	230	231	17,717	2025/5/27
	WESTPAC NEW ZEALAND LTD	3.72	402	407	31,154	2023/3/23
	WESTPAC NEW ZEALAND LTD	2.22	800	783	59,862	2024/7/29
合 計					3,254,192	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2022年2月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 3,254,192	% 97.2
コール・ローン等、その他	92,850	2.8
投資信託財産総額	3,347,042	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,297,396千円)の投資信託財産総額(3,347,042千円)に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月15日における邦貨換算レートは、1ニュージーランドドル=76.43円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2021年2月16日～2022年2月15日)

該当事項はございません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年2月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,347,042,039
コール・ローン等	60,963,823
公社債(評価額)	3,254,192,700
未収利息	31,601,770
前払費用	283,746
(B) 負債	153
未払解約金	15
未払利息	138
(C) 純資産総額(A-B)	3,347,041,886
元本	2,785,565,322
次期繰越損益金	561,476,564
(D) 受益権総口数	2,785,565,322口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,016円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	3,321,089,480円
期中追加設定元本額	275,272,328円
期中一部解約元本額	810,796,486円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型)	1,962,417,465円
LM・ニュージーランド債券ファンド(年2回決算型)	823,147,857円

## ○損益の状況 (2021年2月16日～2022年2月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	113,248,000
受取利息	113,280,705
支払利息	△ 32,705
(B) 有価証券売買損益	△293,714,218
売買益	44,091,116
売買損	△337,805,334
(C) 保管費用等	△ 2,143,718
(D) 当期損益金(A+B+C)	△182,609,936
(E) 前期繰越損益金	892,153,143
(F) 追加信託差損益金	73,807,327
(G) 解約差損益金	△221,873,970
(H) 計(D+E+F+G)	561,476,564
次期繰越損益金(H)	561,476,564

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <お知らせ>

### <合併について>

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、2021年4月1日付でフランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社を吸収合併し、商号を「フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社」に変更致しました。

### <主な約款変更に関するお知らせ>

信託約款中の委託者名を「レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社」から「フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社」に変更しました。

(変更日：2021年4月1日)